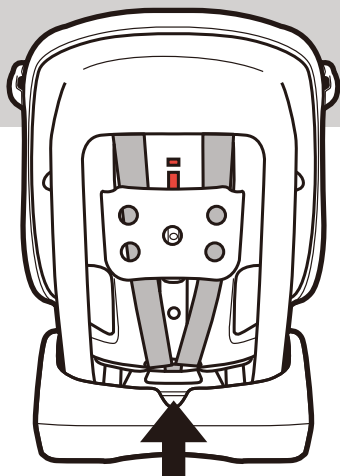




レジェプラス

Leger PLUS



取扱説明書

この取扱説明書は、ここに
保管してください

製造輸入元

株式会社 **シーエー産商**

〒480-0201 愛知県西春日井郡豊山町大字青山字東栄51

お客様相談窓口

TEL.0568-28-5333

受付時間/AM10:00~12:00・PM1:00~PM5:00(月曜日~金曜日※弊社休日を除く)

販売元

株式会社 **西松屋チェーン**

〒671-0218 兵庫県姫路市飾東町庄266-1

MADE IN CHINA 2019-05



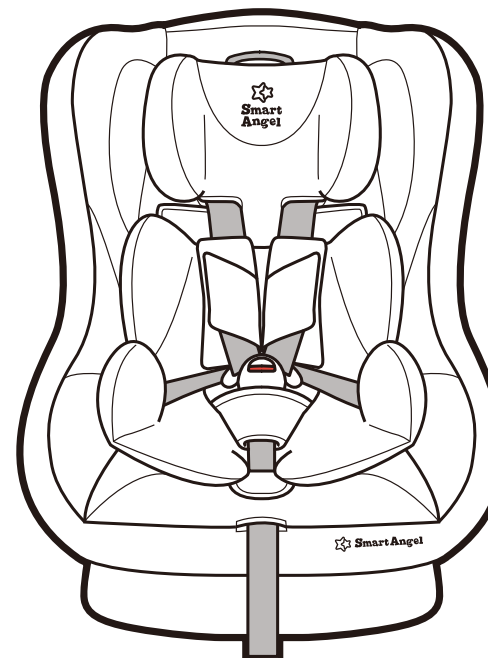
Smart
Angel

レジェプラス

Leger PLUS

取扱説明書/保証書

ご使用前に必ずこの『取扱説明書』を読んでいただき
十分ご理解された上で記載の内容に従って正しくご使用ください。



ECE R44/04
UNIVERSAL
0-18kg Y
E6
0410572
BBC-369

シートを傷めるおそれがあるため、**本革シートの車両**はそのまま取り付けしないで
ください。取り付ける場合は、保護シート等を敷いてからお取り付けください。(別売)

ご使用になる前に、安全のため 必ずお読みください。

- 本装置は、「汎用」年少者用補助乗車装置です。本装置は車両で一般的に使用するものとして、最新のヨーロッパの安全基準(UN ECE R44/04 0+)で試験を受け認可されており、一部を除きほとんどの車両に適合します。
- 車両製造者の車両ハンドブックに当該車両が、この年齢層向けの「汎用」年少者用補助乗車装置を搭載できると明記されていれば、本装置が正しく取り付けられます。
- 本装置は、3点式巻取装置付シートベルトを装備している座席にのみご使用できます。(2点式シートベルトの座席には使用できません。)
- ご不明な点は、お買い上げの販売店または(株)シーエー産商まで、お問い合わせください。

目次	<ul style="list-style-type: none"> ●ご使用になる前に、安全のため必ずお読みください。……1 <ul style="list-style-type: none"> 本書を読んでいただくためのポイントマークについて ……2 本装置をご使用いただけるお子様の目安 ……2 ●シートベルトの種類と使用上の注意 ……3 <ul style="list-style-type: none"> シートベルトの種類 取り付けできる3点式シートベルト 取り付けできないシートベルト ●取り付けできない座席 ……4 ●使用上の警告・注意 ……5 ●各部の名称 ……7 <ul style="list-style-type: none"> インナークッションのご使用について ●各部の使い方 ……9 <ul style="list-style-type: none"> バックル・タングの使い方 リクライニングの調節 ヘッドサポート・肩ベルトの調節 ●ベビーシート(後ろ向き)としての使い方 ……11 <ul style="list-style-type: none"> 取り付け方 ●チャイルドシート(前向き)としての使い方 ……14 <ul style="list-style-type: none"> 取り付け方 ●お子様の乗せ方・降ろし方 ……17 ●お手入れのしかた ……19 ●保証書 ……22
----	--

本書を読んでいただくためのポイントマークについて

下記のポイントマークは安全に関する内容ですので、必ず守っていただき本装置をご使用ください。

警告

事故につながったり、生命の危険、重大な傷害の恐れがある事を記載しています。

注意

安全のため、ご注意ください。いただきたい事を記載しています。

補足

より安全・快適にご使用していただく上で、知っておいただきたい事を記載しています。

✕ 図に表示している行為の禁止を示しています。

本装置をご使用いただけるお子様の目安

本装置は、お子様の年齢や体重により取り付け方が異なりますので、ご使用前にお子様合った取り付け方を確認し、ご使用ください。

ベビーシート

〈グループ0+〉

チャイルドシート

〈グループ1〉

車両のシートベルトで本装置を固定、本装置のベルトでお子様を拘束します。

〈適応体重〉

2.5kg以上 13kg未満

〈身長目安/60~80cm未満〉

●年齢の目安：新生児～1歳半頃

〈適応体重〉

9kg以上 18kg以下

〈身長目安/75~100cm以下〉

●年齢の目安：1歳～4歳頃



警告 お子様の体重が9kgを超えるまでは前向きでの使用はお控えください。また、決して横向きや後ろ向きの座席には取り付けないでください。座らせた際に、頭頂部がヘッドレストから出るお子様はご使用いただけません。

補足 年齢・身長目安は、あくまでも“目安”です。体重条件を満たしていないお子様はご使用いただけません。

シートベルトの種類と使用上の注意

●取り付けできる3点式シートベルト

ELR式シートベルト<緊急ロック式ベルト巻き取り機能付シートベルト>

ゆっくり引き出すと自由に入りますが、急に引き出したり急ブレーキ等のショックが加わるとロックするシートベルト。

AELR式シートベルト<チャイルドシート固定機能付シートベルト>

すべて引き出した後で巻き戻すと、チャイルドシート固定機能がはたらき、それ以上伸びなくなるシートベルト。(シートベルトをすべて巻き戻すと解除される)

NLR式シートベルト<非ロック式ベルト巻き取り機能付シートベルト>

ロック機能がなく、すべて引き出して長さを調整するシートベルト。

ALR式シートベルト<自動ロック式ベルト巻き取り機能付シートベルト>

引き出す途中で止めると、ベルトが自動ロックされ引き出せなくなるシートベルト。

マニュアル式シートベルト

巻き取り装置のない3点式シートベルト。

●取り付けできないシートベルト

腰ベルトに付いたELR式シートベルト

腰ベルト側にELRが付いているシートベルト。

2点式シートベルト

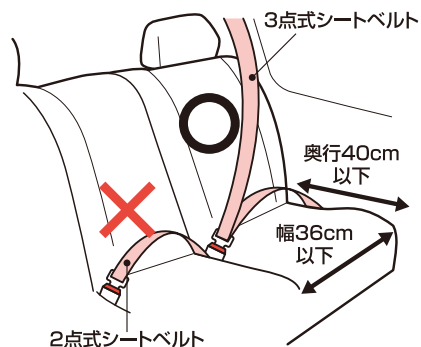
肩ベルトがない腰ベルトのみのシートベルト。

パッシブシートベルト

前部座席に座りドアの開閉により、自動的に装着・解除されるタイプのシートベルト。

取り付けできない座席

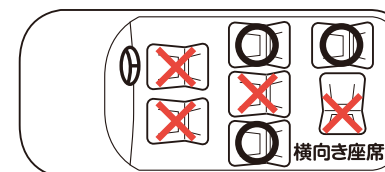
- シートベルトが付いていない座席。
- 2点式シートベルトの座席。



- 座面の幅が36cm以下、座面の奥行きが40cm以下の座席。
- エアバッグが装備されている座席。
※サイドエアバッグのみの場合はご使用いただけます。
- 緊急時に同乗者が脱出する際、さまたげになる座席。

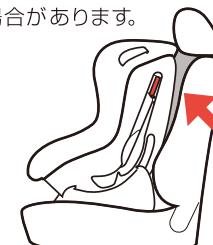


- 極端なバケットシート
座面・背面が極端に凹んだ座席、座面の凹凸が大きく取り付けに不安定な座席。
- チャイルドシートを取り付けた際に、運転に支障をきたす座席。

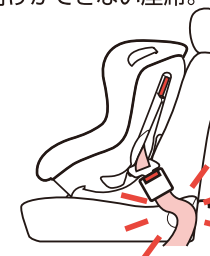


○取り付け可能 ×取り付け不可

- 助手席には決して取り付けないでください。
- 進行方向に対し、横向きや後ろ向きの座席。
- 座席と本装置との間に大きな隙間ができる座席、または車両のヘッドレストによって固定が不安定になる座席。
※車両座席のヘッドレストを上下に調節したり外すことで取り付け可能になる場合があります。



- 受け側のバックルベルトが長い場合、車両のバックルやタンクが本装置とあたって、シートベルトが緩みしっかり締め付けができない座席。

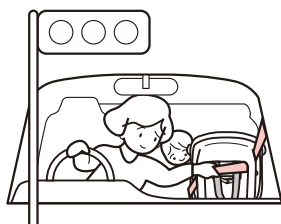
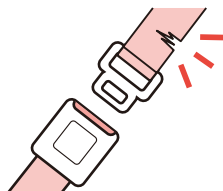


使用上の警告・注意

記載内容を守らないと、生命の危機、または重大な傷害につながるおそれがあります。

警告

- ①本装置は『取扱説明書』通りに取り付けてください。
- ②車両のシートベルトや座席の種類・形状により、『取扱説明書』通りに取り付けできない場合は、使用しないでください。
- ③本装置のベルトが緩んだ状態で使用しないでください。ベルトに緩みがあると首に巻き付いて窒息するおそれがありますので、必ず正しい長さでご使用ください。
- ④お子様がバックルのボタンを押してベルトを外したり、ベルトから抜け出ないように時々ロック部分の確認をしてください。
- ⑤車両のシートベルトや本装置のベルトを傷つけないように注意してください。傷ついた場合、衝撃時に十分な効果が得られない場合がありますので、使用しないでください。
- ⑥衝突等により本装置が強い衝撃を受けた場合、破損の可能性がありますので使用しないでください。
- ⑦拘束機能に影響を与えるおそれがありますので、本装置のカバー・クッション・ベルト類・付属金具等を外して使用しないでください。(インナークッションを除く)
- ⑧お子様を本装置に乗せてセットする際は、骨盤が腰ベルトで拘束されるように低い位置で着用し、肩ベルトもお子様に合わせて、適切な位置で拘束されるようにしてください。
- ⑨走行中にお子様の乗せ降ろし(乗り降り)や、本装置の調節等は絶対にしないでください。
- ⑩本装置を取り付けた後に、車両の座席の移動や調節をしないでください。固定が緩む可能性があります。
- ⑪本装置の部品やベルト等を鋭利なもので傷つけないでください。切れたり欠けたりしていると、機能が正常に働かない場合があります。
- ⑫お子様を乗せたまま車両から離れないようにしてください。不慮の事故につながるおそれがあります。

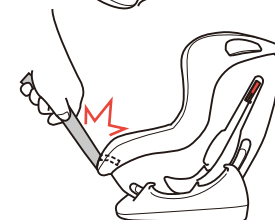
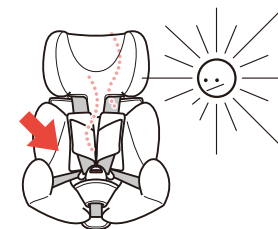


- ⑬本装置を屋外に放置しないでください。日光や雨などで機能を損ねる原因になるおそれがあります。
- ⑭お子様の負担を考え1時間以上連続して使用しないでください。

記載内容を守らないと、傷害または事故につながるおそれがあります。

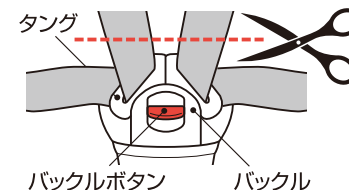
注意

- ①本装置は車両専用ですので、車両以外での使用はしないでください。
- ②本装置に日光が当たりますと、熱くなってお子様がやけどをするおそれがありますので、大人が金属部分・樹脂・レザー部分に触れて、熱くなっていないかを確認してからご使用ください。
- ③お子様が転倒する危険がありますので、本装置の上で立ち上がったたり、中腰にさせないようにしてください。
- ④本装置のバックルや可動部分に、水やジュース等をかけないでください。部品の故障につながります。
- ⑤車両内に傷害を与える可能性のあるものを放置しないでください。万一の際に、お子様や同乗者がケガをするおそれがあり危険です。
- ⑥本装置にお子様を乗せない時でも、安全のため必ず車両のシートベルトで固定してください。衝突時や急ブレーキをかけた際、本装置が移動してケガをするおそれがあります。
- ⑦本装置が車両の座席やドアに挟まれたりしないように注意してください。
- ⑧肩ベルト調節ストラップを上を引っぱると、肩ベルト調節金具が破損するおそれがあります。

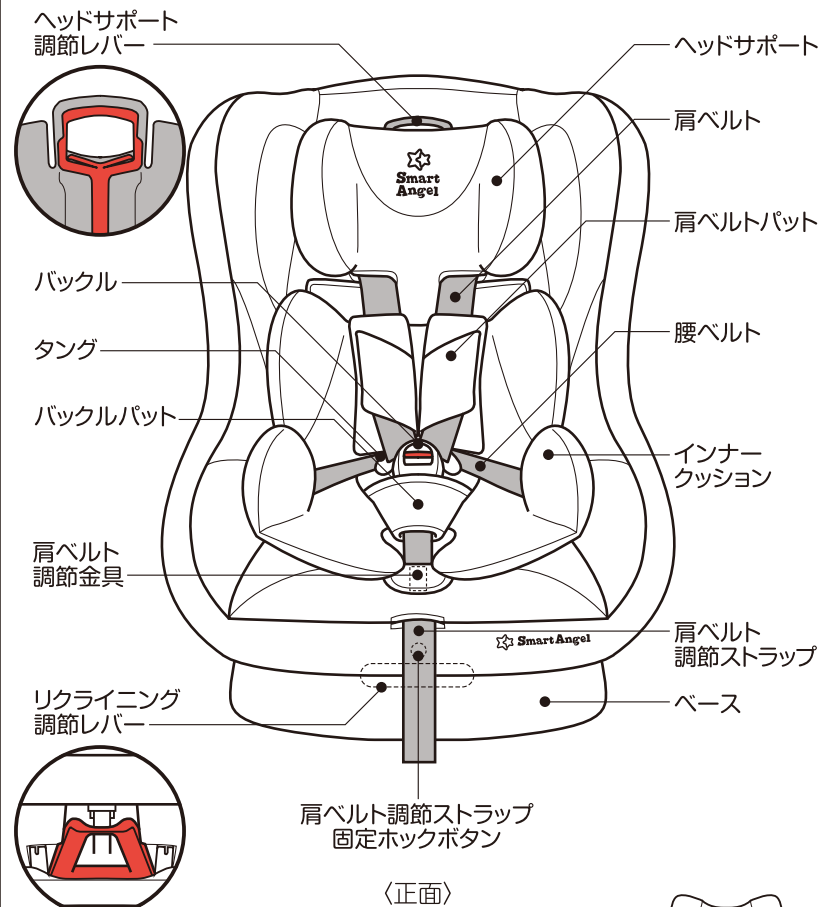


〈緊急時のご対応について〉

緊急時は慌てず速やかにお子様を救出してください。バックルボタン(赤いボタン)を下に押しても、タングがバックルから解除できない場合は、本装置のベルトをはさみ等で切ってお子様を降ろしてください。



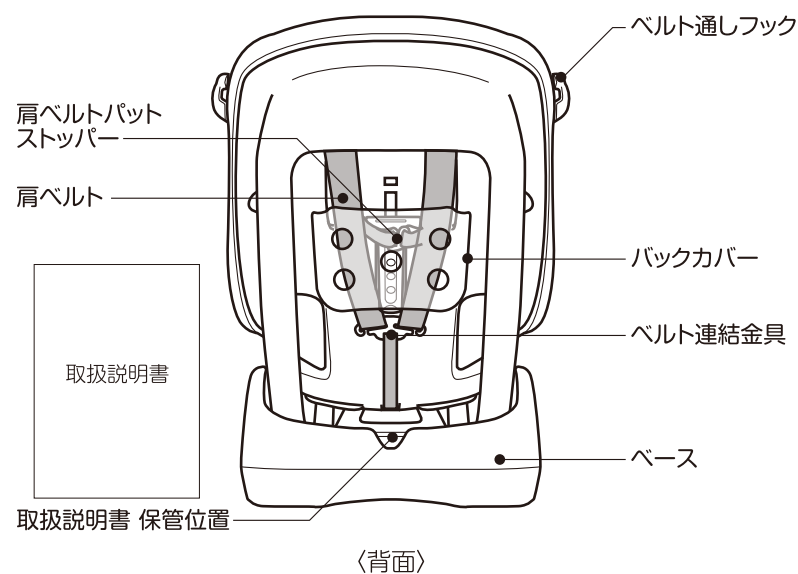
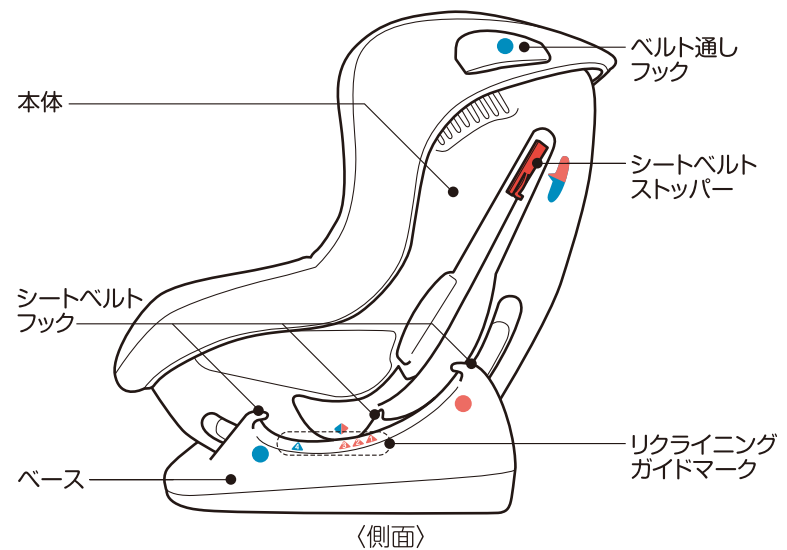
各部の名称



インナークッションのご使用について

インナークッションは、リバーシブルタイプになっています。
 表：ニット生地（柔らかい肌触りです） 裏：メッシュ生地（通気性に優れています）

- 7kg未満のお子様は、インナークッションをご使用ください。
- 取り外してよい条件は7kg以上（6ヶ月頃）で、腰と首がすわっていること。
- 肩ベルトがきつい場合は、三角パット（インナークッションの下）を外してください。

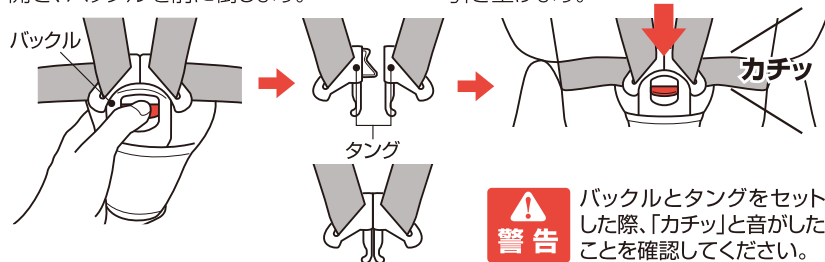


各部の使い方

バックル・タングの使い方

バックルパットを引き下げ、バックルボタン(赤いボタン)を押して、タングをバックルから解除します。
お子様が座れるようにタングを左右に開き、バックルを前に倒します。

お子様を座らせ、左右の肩に肩ベルトを掛け、タングを合わせます。
タングをバックルに「カチッ」と音がするまで確実に差し込み、バックルパットを引き上げます。



警告 バックルとタングをセットした際、「カチッ」と音がしたことを確認してください。

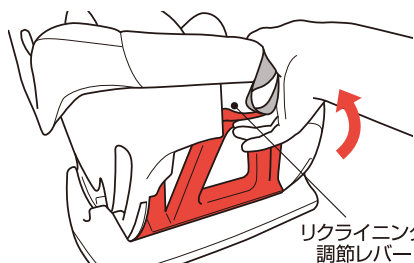
補足

バックル内に飲み物や食べかす等が入ると、バックルの機能を損なうおそれがありますので、水分・ゴミは取り除いてください。

注意

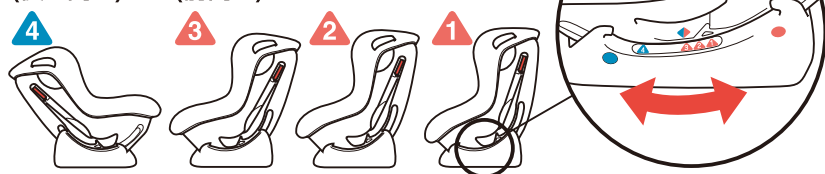
タングの接合部に強い力を加えないでください。破損するおそれがあります。

リクライニングの調節



リクライニング調節レバーを持ち上げながら本体をスライドさせ、リクライニングガイドマーク▲(前向き3段階・後ろ向き1段階)を適正な位置に合わせてください。リクライニング調節レバーを離すと、本体が固定されます。

〈後ろ向き〉 〈前向き〉



ヘッドサポート・肩ベルトの調節

●ヘッドサポート(肩ベルトと連動)の高さ調節の目安・調節方法

〈後ろ向きでの使用の場合〉

〈前向きでの使用の場合〉

肩ベルトの出口がお子様の肩よりやや低い位置になるように高さを調節します。

肩ベルトの出口がお子様の肩の高さと同じか、やや高い位置になるように高さを調節します。

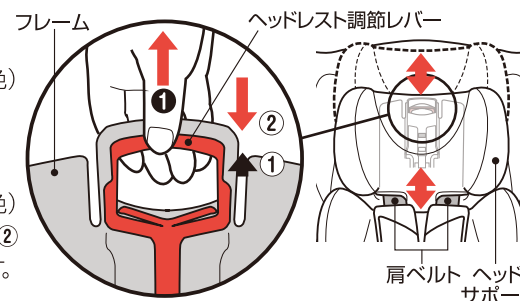


〈上げる場合〉

①ヘッドレスト調節レバー(赤色)穴に指を入れて引き上げます。

〈下げる場合〉

①ヘッドレスト調節レバー(赤色)を引き上げてロックを解除し、②フレーム(黒色)を押し下げます。

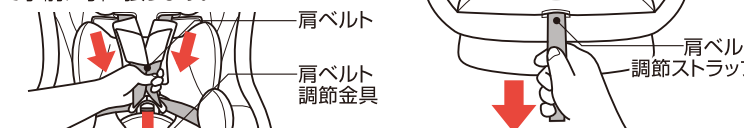


〈肩ベルトを緩める場合〉

肩ベルト調節金具をしっかり押しながら左右の肩ベルト(肩ベルトパットの下側)のみを持って手前に引っ張ります。

〈肩ベルトを締める場合〉

肩ベルト調節ストラップを手前に引っ張ります。



補足

調節の目安は、お子様の肩とベルトの間に指が1本入る程度に調節してください。

注意

左右の肩ベルトの長さが均一になるように、左右の肩ベルトを同時に引き出してください。

注意

肩ベルト調節ストラップを上引っ張ると、肩ベルト調節金具が破損するおそれがあります。

ベビーシート(後ろ向き)としての使い方

(グループ0+).....適応体重 **2.5kg以上13kg未満**

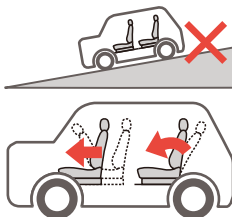
取り付け方(後席左側での取り付け例)

(身長目安/60~80cm未満)

●取り付け作業スペースの確保

後部ドアが全開可能で、平坦な場所で取り付けをしてください。前の座席を前に倒したり、前にスライドさせて、作業スペースを確保してください。

座席がリクライニングで倒れている場合は、標準の位置または車両の取扱説明書で指示されている位置に戻してください。

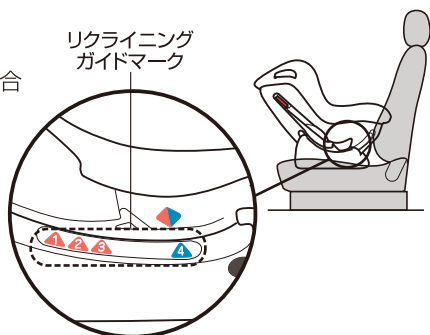


1

リクライニングガイドマーク▲(青4)に合わせてください。

車両の進行方向に対し、後ろ向きに本装置を置き、車両の背もたれと隙間がなく接していることを確認してください。

また、ぐらつきがなく安定していることを確認してください。



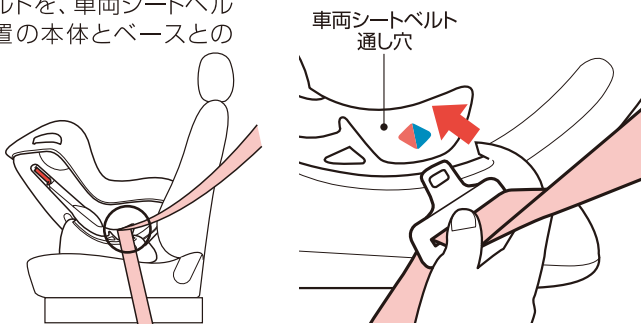
警告 エアバッグ装着の助手席には取り付けられません。



注意 本装置と車両の背もたれ・座席との間に隙間ができないようにする。

2

車両のシートベルトを、車両シートベルト通し穴(本装置の本体とベースとの間)に通します。



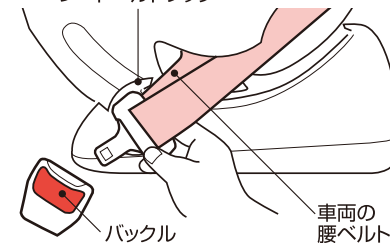
3

反対側の車両シートベルト通し穴から手前に引き出した車両のシートベルトを、バックルにセットします。

バックルにセットした後、肩ベルトを引っ張り本装置を車両の座席に押し付け、腰ベルトを締め付けます。



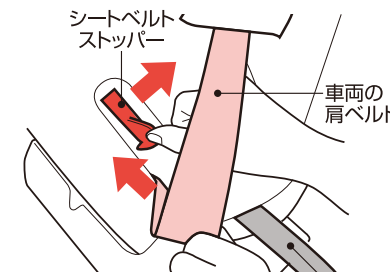
シートベルトフック



注意 車両の腰ベルトがシートベルトフックに掛かっていることを確認してください。

4

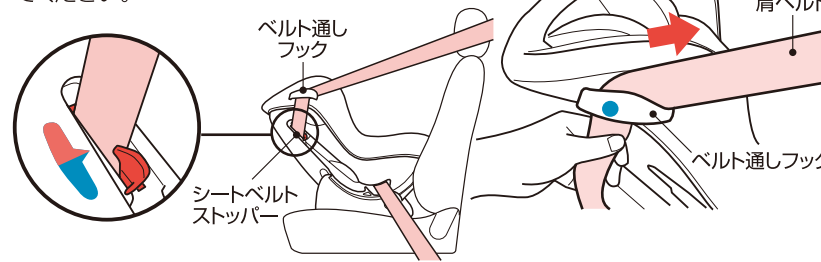
右図のように、シートベルトストッパーを矢印の方向に押し上げ、車両の肩ベルトを下から上に通してはさみ込みます。



5

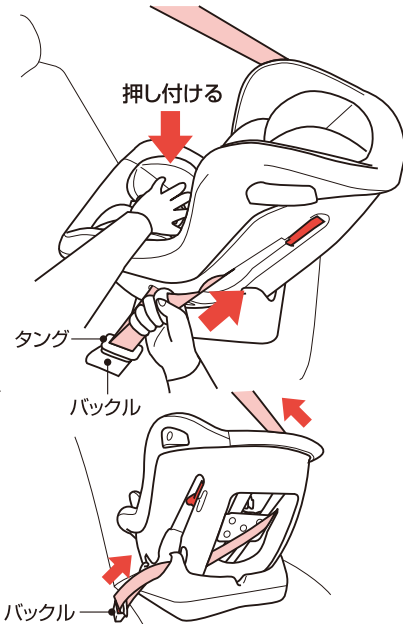
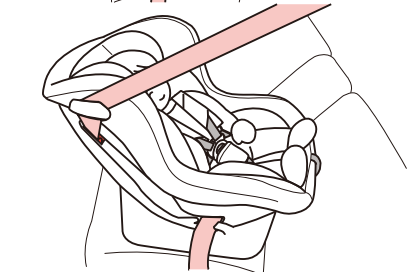
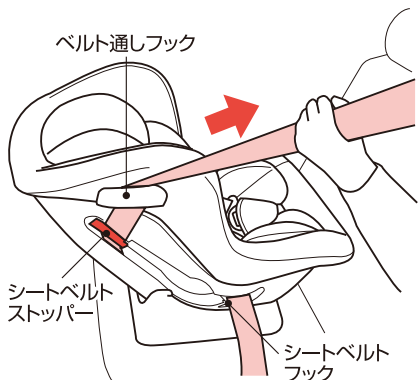
本装置のベルト通しフックに車両の肩ベルトを通してください。

シートベルトストッパーのツメの上に、車両の肩ベルトがのっていることを確認してください。



6

本装置の座面の上から体重をかけ、車両の座席に押し付けて車両のシートベルトを締め付けます。



補足 車両のシートベルトがバックルに届かない場合、車両の背もたれや座席位置を調整して、再度取り付けてください。

セット後の確認

- 車両のシートベルトのタングとバックルが、確実にセットされていること。
- 車両のシートベルトに、ねじれやたるみがないこと。
- 車両のシートベルトが、ベルトフック・ベルト通しフック・ベルトストッパーに確実にかかっていること。
- 本装置を左右に揺すって、ぐらつきがなく安定していることを確認すること。

チャイルドシート(前向き)としての使い方

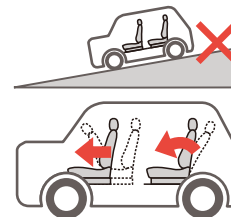
<グループI>適応体重 **9kg以上18kg未満**

取り付け方(後席左側での取り付け例)

(身長目安/75~100cm以下)

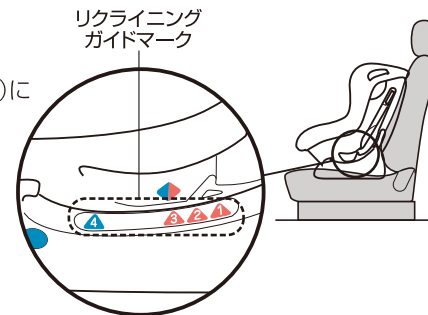
●取り付け作業スペースの確保

後部ドアが全開可能で、平坦な場所で取り付けをしてください。前の座席を前に倒したり、前にスライドさせて、作業スペースを確保してください。座席がリクライニングで倒れている場合は、標準の位置または車両の取扱説明書で指示されている位置に戻してください。



1

リクライニングガイドマーク▲(赤1~3)に合わせてください。車両の進行方向に対し、前向きに本装置を置き、車両の背もたれと接していることを確認してください。また、ぐらつきがなく安定していることを確認してください。



警告 エアバッグ装着の助手席には取り付けられません。



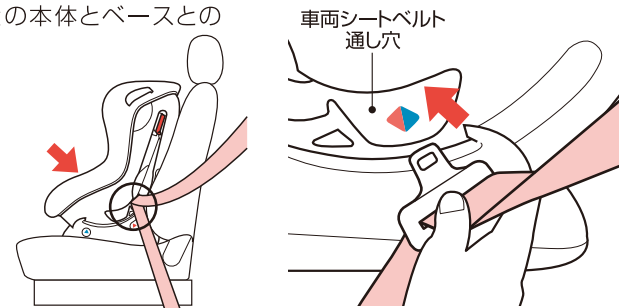
注意 本装置と車両の背もたれ・座席との間に隙間ができないようにする。

2

車両のシートベルトを、車両シートベルト通し穴(本装置の本体とベースとの間)に通します。

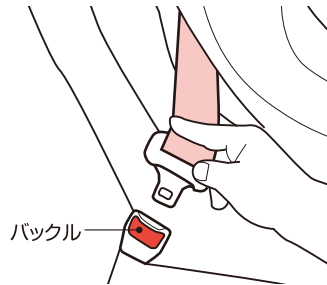
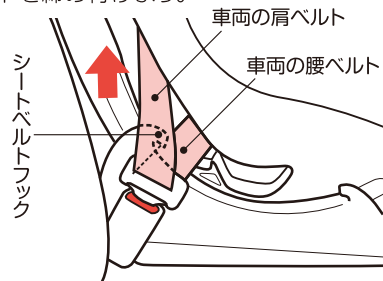


補足 ヘッドレストが干渉する場合は、上げるか取り外してください。



3

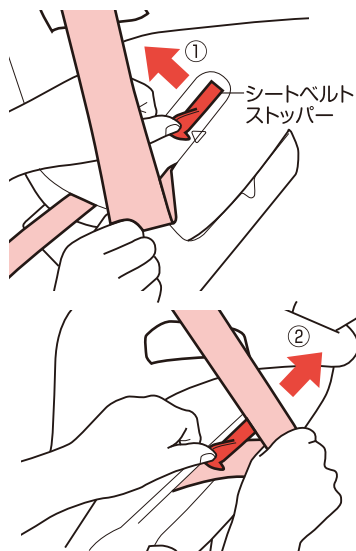
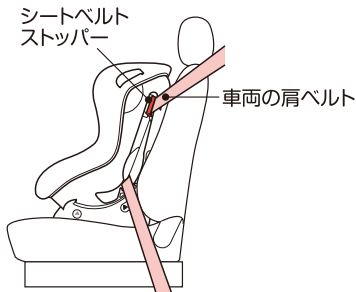
反対側の車両シートベルト通し穴から引き出した車両のシートベルトを、バックルにセットします。
バックルにセットした後、肩ベルトを引っ張り本装置を車両の座席に押し付け腰ベルトを締め付けます。



注意 車両の腰ベルトがシートベルトフックに掛かっていることを確認してください。

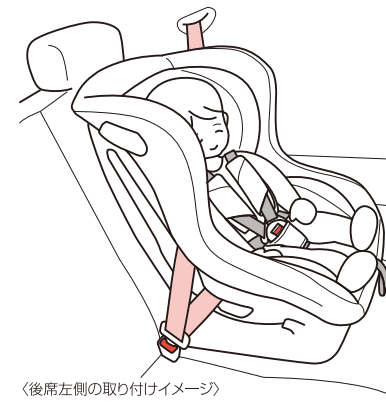
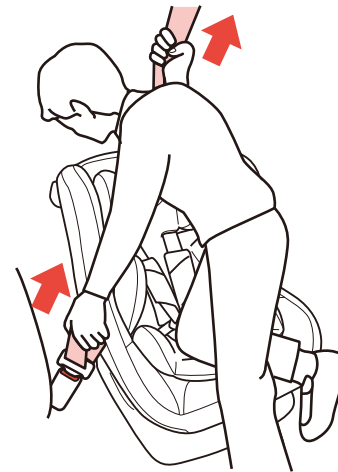
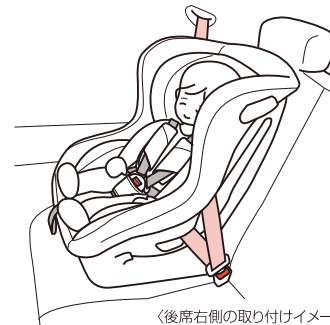
4

右図のように、シートベルトストッパーを矢印の方向に押し上げ、車両の肩ベルトを下から上に通してはさみ込みます。



5

本装置の座面の上から体重をかけ、車両の座席に押し付けて車両のシートベルトを締め付けます。



補足 車両のシートベルトがバックルに届かない場合、車両の背もたれや座席位置を調整して、再度取り付けてください。

セット後の確認

- 車両のシートベルトのタングとバックルが、確実にセットされていること。
- 車両のシートベルトに、ねじれやたるみがないこと。
- 車両のシートベルトが、ベルトフック・ベルト通しフック・ベルトストッパーに確実にかかっていること。
- 本装置を左右に揺すって、ぐらつきがなく安定していることを確認すること。

警告 上記の内容を満たしていない状態で使用しないでください。本装置の機能が十分に発揮せず危険です。

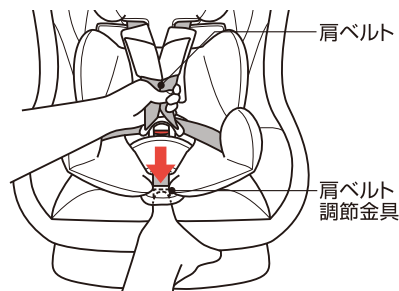
お子様の乗せ方・降ろし方

お子様の乗せ方

本書P2「本装置をご使用いただけるお子様の目安」を参照して取り付け向きを確認し、お子様に合わせて着座スペースを確保して取り付けてください。

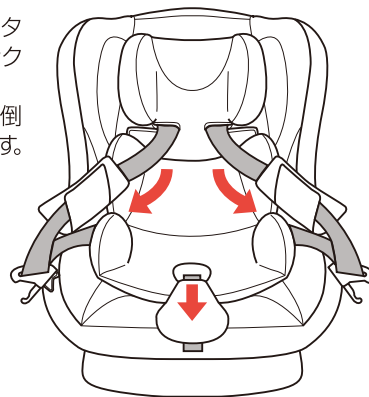
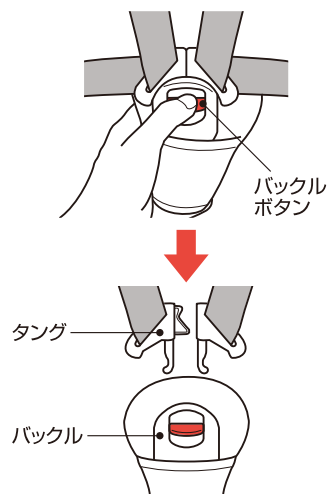
1

肩ベルト調節金具をしっかり押しながら、左右の肩ベルト（肩ベルトパットの下側）のみを持って手前に引っ張り、肩ベルトを緩めます。



2

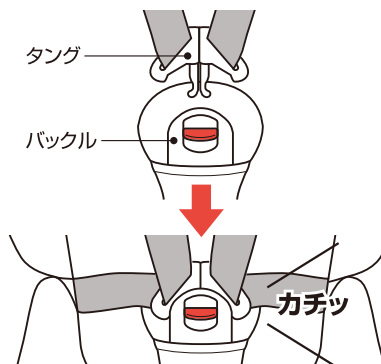
バックルパットを引き下げ、バックルボタン（赤いボタン）を押して、タングをバックルから解除します。肩ベルトを左右に開き、バックルを前に倒し、お子様が座れるスペースを確保します。



注意 左右の肩ベルトの長さが均一になるように、左右の肩ベルトを同時に引き出してください。

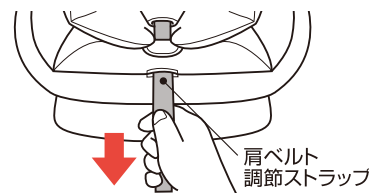
3

バックルが、お子様の股の間に収まるように深く座らせます。左右のタングを合わせ、「カチッ」と音がするまでバックルに差し込みます。



4

肩ベルト調節ストラップを手前にゆっくり引っ張って肩ベルトを締め、お子様を拘束します。



警告 バックルが確実に固定されていることを、必ずご確認ください。

注意 肩ベルトにねじれができないように、また指をはさまないように十分注意してください。タングの接合部に強い力を加えると破損するおそれがあります。

補足 調節の目安は、お子様の肩とベルトの間に指が1本入る程度に調節してください。

注意 肩ベルト調節ストラップを上引っ張ると、肩ベルト調節金具が破損するおそれがあります。

お子様の降ろし方

肩ベルト調節金具を押して肩ベルトを緩めます。バックルボタンを押してロックを解除し、肩ベルトを左右に開きます。お子様の腕を肩ベルトに引っかからないように注意しながら、ゆっくりとお子様を降ろしてください。

お手入れのしかた

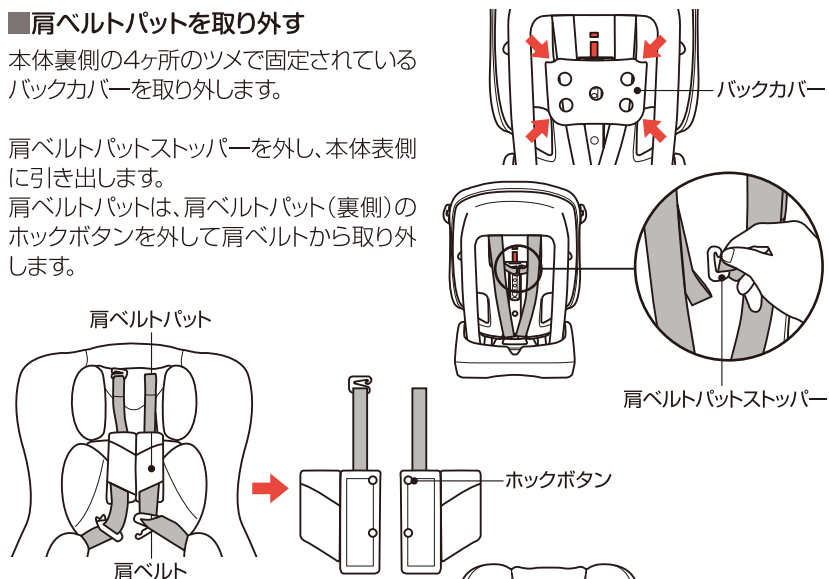
取り外し方

■肩ベルトパットを取り外す

本体裏側の4ヶ所のツメで固定されているバックカバーを取り外します。

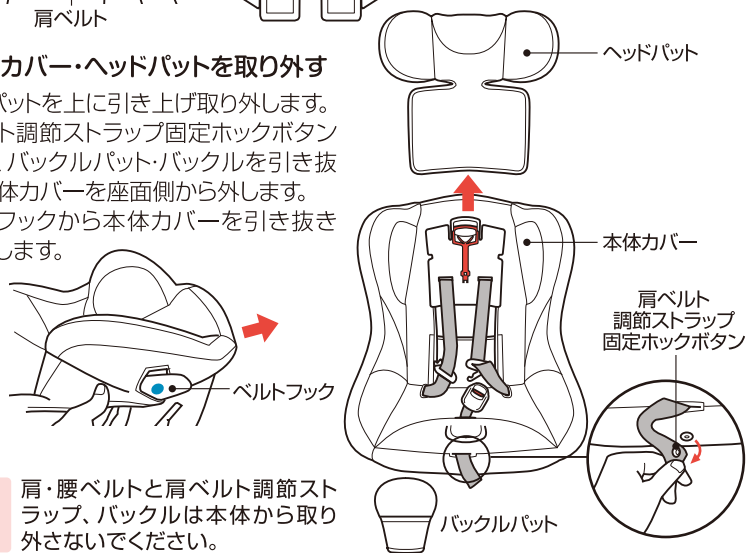
肩ベルトパットストッパーを外し、本体表側に引き出します。

肩ベルトパットは、肩ベルトパット(裏側)のホックボタンを外して肩ベルトから取り外します。



■本体カバー・ヘッドパットを取り外す

ヘッドパットを上引き上げ取り外します。肩ベルト調節ストラップ固定ホックボタンを外し、バックルパット・バックルを引き抜いて本体カバーを座面側から外します。ベルトフックから本体カバーを引き抜き取り外します。



注意 肩・腰ベルトと肩ベルト調節ストラップ、バックルは本体から取り外さないでください。

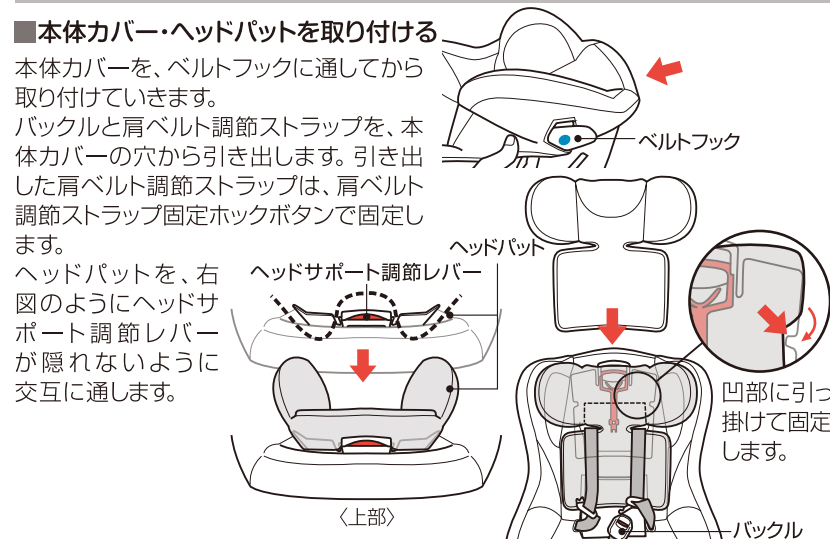
取り付け方

■本体カバー・ヘッドパットを取り付ける

本体カバーを、ベルトフックに通してから取り付けていきます。

バックルと肩ベルト調節ストラップを、本体カバーの穴から引き出します。引き出した肩ベルト調節ストラップは、肩ベルト調節ストラップ固定ホックボタンで固定します。

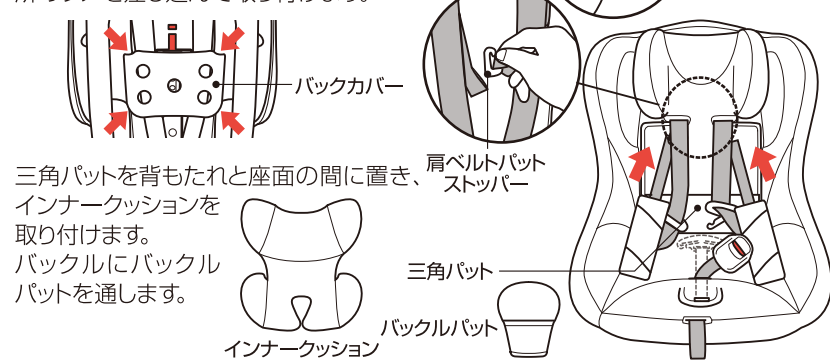
ヘッドパットを、右図のようにヘッドサポート調節レバーが隠れないように交互に通します。



■肩ベルトパット・インナークッションを取り付ける

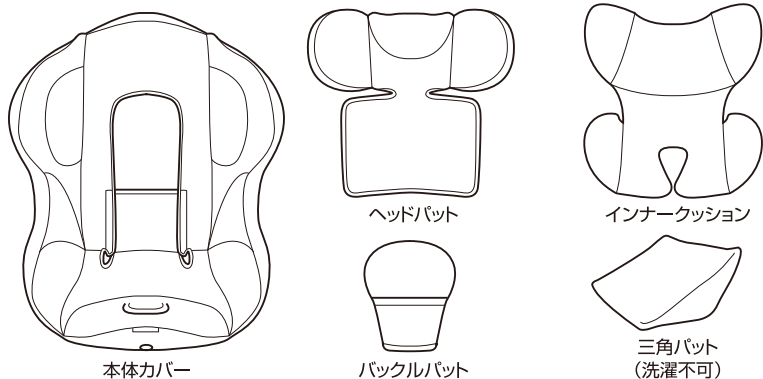
肩ベルトパットを肩ベルトの下から本体裏側に通して、肩ベルトパットストッパーを取り付けます。

バックカバーの上下の向きを確認し、4ヶ所のツメを差し込んで取り付けます。



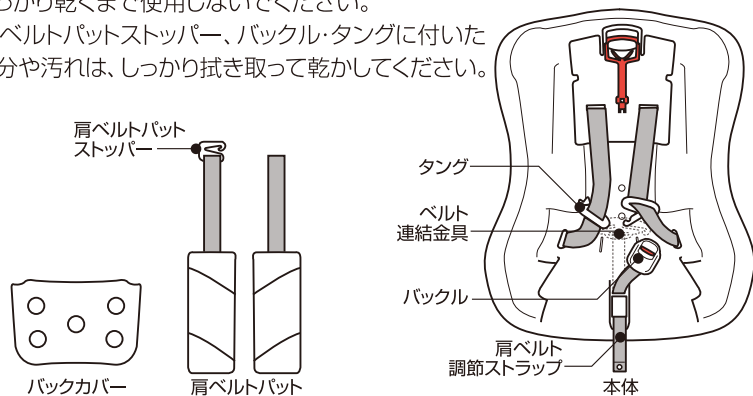
カバー・パット・クッション

- 中性洗剤を使い、押し洗いしてください。
- 脱水機・乾燥機等は使用せず、タオル
- 塩素系漂白剤は色落ちしますので、使用 等で水分を十分取り、風通しのよい日陰で干してください。
- しっかり乾くまで使用しないでください。
- アイロンがけはしないでください。



本体・ベルト・バックル等

- 乾拭き、またはよく絞った布で水拭きしてください。
- 風通しのよい日陰で干してください。
- しっかり乾くまで使用しないでください。
- 肩ベルトパットストッパー、バックル・タングに付いた水分や汚れは、しっかり拭き取って乾かしてください。



保証基準

- ①本製品の品質保証期間は、お買い求めになった日より1年間です。
- ②保証期間内には、パーツの欠品、加工不良などメーカーの責任によるものは無償保証といたしますが、お客様の責任によるものは保証いたしかねます。
- ③保証期間内でも次の場合は保証対象外とさせていただきます。
 - ・フレーム及びプラスチック部品の自然劣化。
 - ・ご使用にともなうキズややぶれ。
 - ・天変地異や、事故などによる故障や損傷。
 - ・保証書のご提示がない場合。
 - ・間違った使い方や改造、不適切な修理、手入れ不良による故障や損傷。
 - ・有償修理時に要する発送費。
- ④原則として、一度ご使用になった製品は、パーツ欠品、加工不良のものを除き保証いたしかねます。
- ⑤保証書は日本国内においてのみ有効です。海外からの保証サービスは受付できません。
- ⑥ご贈答、ご移転で保証書に記入してある販売店に保証サービスを依頼できない場合はお客様相談窓口にご相談ください。
- ⑦製造中止後の製品については、必要部品の在庫がなくなった場合、保証いたしかねる場合があります。
- ⑧この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料保証をお約束するものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権限を制限するものではありません。この保証期間後においてご不明な点がありましたらお客様相談窓口にお問い合わせください。

保証書

お買い上げ後、お買い上げ日・お客様名・販売店名を直ちにご記入いただき、**レシート**または**販売証明書**(ご購入年月日・販売店がわかるもの)と一緒に大切に保管してください。

商品名 SmartAngel レジェプラス		お買い上げ 年月日	年	月	日	故障内容記入欄
		保証期間 お買い上げ日より1年間				
お客様	お名前	TEL				
	ご住所					
販売店	店名	TEL				
	住所					

- 万一故障が発生した場合は、この保証書をご提示ください。
 - ご提供いただいた個人情報は、保証書に基づくアフターサービスのために使用し、その他の目的に使用することは一切ございません。
 - 本書は再発行しませんので、大切に保管してください。
- ※品質向上のため、予告なしに一部仕様変更する場合がありますのでご了承ください。